

基礎看護援助論 自主トレーニング

まずは、今から実施させていただくことをきちんと説明…。
笑顔で！ハキハキと！



地域の教育ボランティアの方々にご協力いただき、車いす移送や血圧測定などの技術をトレーニングしています。

血圧は、うまく測定できるかなあ…。
とっても緊張するな…。



大丈夫、大丈夫。
練習してきたとおりに頑張っ！
うん、うん、うまくできてるわよ。

失敗しても大丈夫よ。
繰り返して練習することが大切よね。

実は…



いらっしゃる前に、練習をしていました。でも、学生同士とは違うことを学びました。

血圧は、素早く正確に測定しないと！
自分が緊張して、相手の方も緊張させてしまうと血圧が高くなってしまふから…落ち着いて…。



人生の大先輩に、寛大なところで受け入れていただきました。そして、まだまだ未熟な学生たちの看護技術をあたたかく見守っていただき、ありがとうございました。笑顔でトレーニングさせていただくことができました。



どうすれば、段差をガタンとさせずに上り下りができるか、考えてみて！



なんでうまくいかないんだろう…。
ガタンとさせると、車いすに乗ってる方はとても不快になるだろうから、考えない！！

対象の方々に看護援助を
実践させていただくときには、
ひとつひとつ丁寧に
説明や言葉かけが必要です。
対象の方々の様子を
観察しながらの説明や
コミュニケーションがこからの
課題ですね。



折り紙を教してもらい、みんなで挑戦しました！
バラや万華鏡…
手作りの折り方説明もあって、とても分かりやすかったです。これからのさまざまな実習で活用させていただきます。

人生の大先輩にたくさん語ってもらいました！

ありがとう
ございました♡

